

# エクストリームシリーズ 2016 奥大井大会

## ■奥大井大会 3名カテゴリー 優勝チームコメント

スパモニ探検隊第三小隊 鹿野 颯太さん

シリーズ最終戦の奥大井大会、スパモニ探検隊は三隊編成で挑みました。年間総合順位に関わる最終戦。前回の伊南大会では終盤のCPでツボにはまり総合優勝からは遠のいてしまいました。でも3チーム上位に食い込めばまだ可能性はある！と事前の話し合いで鈴木隊長からプレッシャーをかけられました(私はもう慣れましたが、本隊の女性メンバー守屋さんのプレッシャーは凄かったです)。

今回の第三小隊のメンバーはもぐさん(百戦錬磨のオリエンティア)、米田さん(TJAR2 回完走の鉄人&ムードメーカー)、鹿野(何でも屋さん?)。もぐさんとは初めてチームを組み、米田さんとはオーバーナイトで組んで以来2回目でした。

レース当日は夏の終わりとは思えない残暑、奥大井の自然を楽しむにはもってこいでした。

レースの初めは石積みチームチャレンジ。思ったよりどのチームも素早くクリアし一斉に自転車へ。最終戦ということもあり、CP3までは上位チームはお互いを意識しほぼ団子状態。CP3で荒れた林道を降りるか、来た道を引き返すかで、各チームバラけ始めました。

そのあとのお寺でのチームチャレンジの後、長い長いMTBヒルクライム！およそ10km弱、残暑の中を登り続けました。第三小隊は米田さんがもぐさんを牽引するという鉄人パワーを発揮。牽引装置の扱いも上手で、状況に応じて素早く牽引をON、OFFしていました。この時点で第三小隊はコナ・ウインとトップを争う展開に。コナ・ウインはみなトライアスリート、自転車にはかなり強いチームで離されないように食らいついていきました。

ヒルクライムのあとはトレッキング。今回はこのCP9.10とそのあとのMTBダウンヒルのCP12がキモだったと思います。ここで第三小隊はもぐさんが安定の読図力を発揮。大方のチームとは違う戦略で危なげなくCPをゲット、これでかなりのリードができました。気の緩みが出てここで少しミス。無理矢理急斜面を下降し何とか修正しました。

続け様にMTBの下りに入るべきコースをミス。戻ると決めて、そうなるのかなりのダメージとなることは明白で、泣きそうになりました。ここで運良くCPに下る道を発見し、その後ももぐさんのお陰でしっかりリカバリー出来ました。

カヌーとリバートレッキングを順調にこなし、最後はゴールまで長いMTBロード区間。後ろからトライアスリート集団が追い上げてくる事は目に見えていて、見晴らしのいい場所では意識して何度も姿を探してしまいました。なんとか最終CPをとり、ほぼ優勝を確信。ところが最後の最後、トンネルを抜ける辺りで米田さんから「後ろ来る！」との声！向こうも必死、こっちも必死。こういった状況ではきっと追い上げる方が心理的には余裕があり、逃げる方がプレッシャーが大きい。米田さんはもぐさんを牽引し自分はルート案内。ゴールへの入り口はスタートの時の道に戻れば良かったが、スタート時に分岐を確認し忘れていました。ここで道を間違えたら致命的、それらしき分岐を発見し誘導するも、入って暫くも間違えている気がして心臓バクバクでした。何とか道は合っていて、28秒差で逃げ切りゴール！エクストリームシリーズで初優勝を果たすことが出来ました。

私はアドベンチャーレースに出会い間もなく一年です。これまでトレランなどの大会に出て来ましたが、今年はアドベンチャーレースを最優先にし、シリーズ戦は全て参加しました。そしてたくさんのアドベンチャーレーサーや大会関係者、地域の方々に出会い、これまで知らなかった地域の魅力を発見することが出来ました。

色々なスポーツを体験してきましたが、これほど楽しめるスポーツがこの世にあった事が驚きです。

今後も楽しくアドベンチャーレースを続けつつ、これまで知らなかった人達に魅力を伝えていきたいと思っています。

選手の皆様、大会関係者の皆様、本当にありがとうございました。